

## 基本目標 3

### 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	39	36	5	0

#### 施策の方向 1 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 28 企業等への広報・啓発</b>				
福岡市子ども・子育て審議会	新・福岡市子ども総合計画及び第4次福岡市子ども総合計画の策定の進捗状況等の協議	平成25年9月に福岡市児童福祉審議会と福岡市次世代支援推進協議会を統合再編し、設置した。 新・福岡市子ども総合計画及び第4次福岡市子ども総合計画の取組状況についての報告等を行った。 総会1回開催 (総会3回、専門委員会4回開催)	A	こ) 総務企画課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">27年度予算額 1,889千円</td> <td style="text-align: center;">26年度予算額 (4,433千円)</td> </tr> </table>		
予 算 額				
27年度予算額 1,889千円	26年度予算額 (4,433千円)			
市民や企業と共働した子育て支援		子どもの健やかな成長を考える“きっかけ”となるよう、企業・団体に対して、“「い〜な」ふくおか・子ども週間♡”賛同を呼びかけた。 ・平成28年3月末現在賛同数 973企業・団体 (平成27年3月末賛同数 954企業・団体) ・働く人の認知度を向上するため、市営地下鉄駅構内で通勤時間帯に放送。 地下鉄駅構内放送の内容をリニューアル(市民から「子どもや子育てを応援する『ひとこと』」を募集し、優秀作品を地下鉄の構内放送に採用)(H28.5より放送開始) ・賛同後の働きかけや情報提供を強化するため、メールマガジンの発信回数を増加 ・“「い〜な」ふくおか・子ども週間”ホームページへの賛同企業・団体名及び取り組みの掲載 ・賛同呼びかけ強化月間(8~10月)を設定し、市役所全庁で呼びかけ。 ・ノー残業デーの実施 ・子ども参観日の実施(8月5日)	B	こ) 総務企画課
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">予 算 額</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">27年度予算額 2,752千円</td> <td style="text-align: center;">26年度予算額 (2,176千円)</td> </tr> </table>		
予 算 額				
27年度予算額 2,752千円	26年度予算額 (2,176千円)			

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
ワーク・ライフ・バランス推進事業	ワーク・ライフ・バランスを推進するため、市民や市内企業への意識啓発を図る。	<p>○企業向け出前型セミナー「ワーク・ライフ・バランスセミナー」の実施                      受講企業数 30社&lt;12社&gt;</p> <p>○テレワーク(在宅勤務)の普及・啓発                      ・ホームページ等による啓発(事例集作成 500部)                      (講演会・ミニセミナー開催 2回 217名)                      ・電話・メール等による相談 43件                      ・コンサル派遣4社, 新規導入決定企業4社</p> <p>○自営型テレワークを紹介するセミナー「おうち起業カフェ」の開催                      全2回(参加者数計109名)</p> <p>○ふくおか“働き方NEXT”フォーラムの開催                      ・日時:3/2(参加者数202名)</p> <p>○女性活躍推進法行動計画策定セミナーの実施                      ・日時:3月全5回開催(参加者総数94名)</p>	A	市) 女性活躍推進課				
		<p>予 算 額(※予算額のうち特定財源 5,000千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>11,778千円</td> <td>&lt;1,001千円&gt;</td> </tr> </table>	27年度予算額	26年度予算額	11,778千円	<1,001千円>		
27年度予算額	26年度予算額							
11,778千円	<1,001千円>							
社会貢献優良企業優遇制度(次世代育成・男女共同参画支援事業分)		<p>社会貢献度の高い地場企業に対して優先指名等の優遇措置を行う社会貢献優良企業優遇制度の対象事業に「次世代育成・男女共同参画支援事業」を設けている。</p> <p>認定企業:93社&lt;87社&gt;                      認定期間:H25.8.1~H28.7.31</p>	A	市) 女性活躍推進課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	27年度予算額	26年度予算額	-	-		
27年度予算額	26年度予算額							
-	-							
<b>具体的施策 29 育児・介護休業制度に関する広報と情報提供</b>								
勤労者総合啓発事業	勤労者総合啓発誌「働くあなたのガイドブック」をできるだけ多くの窓口に配布し、労働関係の法令や助成制度、窓口の基礎知識の周知に努める。	<p>(具体的施策 19再掲)</p> <p>労働関係法令や雇用安定・創出のための助成制度、市内の雇用・労働に関する相談窓口等を掲載した勤労者総合啓発誌を作成し、市民をはじめ労働団体や企業等に配布することにより、勤労者の福祉の向上を図った。</p> <p>・作成部数:9,000部&lt;1,000部(増刷)&gt;                      ・配布部数:6,084部&lt;2,625部&gt;                      ・配布先:市関係施設、国・県の関係施設、短大など</p>	A	経) 就労支援課				

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
<b>具体的施策 30 仕事と生活の調和のとれた生き方の普及</b>								
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等		<p>○男性向けセミナー 男性と若年層を対象とした多様なテーマの講座及び父と子を対象とした料理教室等を実施。</p> <p>◆パパと子どものクッキング 全4回(全2回) 講師:北川みどり氏(クッキングルームHappa 代表 食育指導士) 参加者数:延べ99人【男:71人,女28人】 〈延べ50人【男:36人,女14人】〉</p> <p>◆男性カレッジ 全3回(全4回) 講師:福山剛氏(La Maison de la NatureGoh オーナーシェフ)ほか 参加者数:延べ94人 〈延べ141人〉</p> <p>※27年度予算はワーク・ライフ・バランス推進事業に含む</p>	A	市) 事業推進課				
☆アミカス講座		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">27年度予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">26年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>	27年度予算額	26年度予算額	-	-		
27年度予算額	26年度予算額							
-	-							
広報紙の発行	広報紙に関しては、紙媒体から電子媒体へ移行していくことを考慮に入れ発行する。	<p>(具体的施策 8再掲) 男女共同参画推進センターの事業等を紹介するとともに、女性問題解決のための情報提供や啓発を行った。</p> <p>○広報紙「アミカスタイムズ」の発行 発行回数:年3回 発行部数:5,000部/回 配布先:全国の男女共同参画行政機関・施設、マスコミ、近郊大学・短大、市内の企業、市情報プラザ、公民館、市民センター 等</p> <p>○情報紙「アミカスカワラ版」の発行 発行回数:毎月1回 発行部数:2,800部/回〈同左〉</p> <p>○アミカス図書室情報案内の発行 発行回数:毎月1回 発行部数:900部/回〈700部〉</p>	A	市) 事業推進課				
<b>具体的施策 31 市役所における育児・介護休業中の男女への支援</b>								
育児休業中の職員に対する研修	育児休業中の職員に対する研修を行うことにより、円滑な職場復帰とキャリア形成を支援する。	<p>「パパママ応援講座」(育児休業者の職場復帰前研修)を実施。</p> <p>○集合研修編 (経験者による体験談、育休中の職員同士の意見交換等) 参加者:育休中の職員等 42名(58名)</p> <p>○FINE編(庶務管理等システム等の操作練習) 7回実施、参加者:計6名(5回実施、参加者計5名)</p>	A	総) 人材育成課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">27年度予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">26年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">147千円</td> <td style="text-align: center;">〈138千円〉</td> </tr> </table>	27年度予算額	26年度予算額	147千円	〈138千円〉		
27年度予算額	26年度予算額							
147千円	〈138千円〉							
子どもが生まれる予定の職員を対象とした研修	子どもが生まれる予定の職員に対する研修を行うことにより、円滑な職場復帰とキャリア形成を支援するとともに、男性職員の家事育児参画を促進する。	<p>「パパママ準備セミナー(女性編・男性編)」を実施。 参加:女性編 65名(61名), 男性編 129名(26名)</p> <p>内容:人材育成課による説明 (福岡市における女性職員活躍推進について) 外部講師による講義 (女性活躍推進, ワークライフバランス, キャリア等)</p> <p>※本セミナーに参加する職員の上司を対象とした研修も実施。</p>	A	総) 人材育成課				
		<p>予 算 額</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">27年度予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">26年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">879千円</td> <td style="text-align: center;">〈300千円〉</td> </tr> </table>	27年度予算額	26年度予算額	879千円	〈300千円〉		
27年度予算額	26年度予算額							
879千円	〈300千円〉							

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課		
子どもが生まれる予定の職員の上司を対象とした研修	子どもが生まれる予定の職員の上司に対する研修を行うことにより、職員の円滑な職場復帰とキャリア形成を支援するとともに、職場環境の整備改善を促す。	「パパママ準備セミナー(上司編)」を実施。 参加:155名<54名> 内容:人材育成課による説明 (福岡市における女性職員活躍推進について) 外部講師による講義 (女性活躍推進, 職場運営のポイント等)	A	総) 人材育成課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>291千円</td> <td>&lt;300千円&gt;</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
27年度予算額	26年度予算額					
291千円	<300千円>					
福岡市特定事業主行動計画に基づく仕事と家庭の両立支援策の推進	①子どもが生まれた男性職員のうち、育児休業、部分休業、育児短時間勤務のいずれかを取得した職員の割合 ・・・・15%以上 ②子どもが生まれた男性職員のうち、出産・育児支援休業を取得した市職員の割合 ・・・・95%以上 ③市職員の年次有給休暇の年間平均取得日数 ・・・・16日以上	・年次有給休暇等の取得促進に向けた啓発を行うとともに、年次有給休暇取得率が低い(5日以下)職場に対するヒアリングを実施。 3件<1件>(27年度) ・「時間外勤務の縮減に関する指針」(26年4月)に基づき縮減に向けた取り組みを実施。 本市職員一人あたりの時間外勤務時間数:161時間(16年度)→127時間(26年度) ・行動計画における目標数値の実績(26年度)※< >内は25年度実績 ①4.2%<2.3%> ②91.5%<89.8%> ③14.7日<14.8日>	B	総) 人事課  ※27年度は 労務課		
		<table border="1"> <tr> <th>27年度予算額</th> <th>26年度予算額</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			27年度予算額	26年度予算額
27年度予算額	26年度予算額					
-	-					

## 施策の方向 2 男性の家庭・地域への参画促進

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
具体的施策 32 男性への意識啓発								
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等  ☆アミカス講座		(具体的施策 30再掲) ○男性向けセミナー 男性と若年層を対象とした多様なテーマの講座及び父と子を対象とした料理教室等を実施。 ◆パパと子どものクッキング 全4回<全2回> 講師:北川みどり氏(クッキングルームHappa 代表 食育指導士) 参加者数:延べ99人【男:71人,女28人】 <延べ50人【男:36人,女14人】> ◆男性カレッジ 全3回<全4回> 講師:福山剛氏(La Maison de la NatureGoh オーナーシェフ)ほか 参加者数:延べ94人 <延べ141人>	A	市) 事業推進課				
活力あるまちづくり支援事業	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	(具体的施策 9再掲) 活力あるまちづくり支援事業補助金の交付を通じて自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。  補助金交付団体数 27年度148団体<148団体> ※26年度148団体のうち147団体については自治協議会へ交付、残り1団体については自治協議会未設立のため各種団体へ交付	A	市) コミュニティ推進課				
公民館における男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの	公民館主催事業(男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの)実施館数の増加 18館	公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。そのうち主に男性を対象としたもの。 公民館数 13館 <12館> 回数 51回 <30回> 参加人数 835人 <758人>	C	市) 公民館支援課  ※27年度は 公民館調整課				
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額(予算額は全主催事業の予算)</th> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>54,104千円</td> <td>&lt;54,332千円&gt;</td> </tr> </table>			予 算 額(予算額は全主催事業の予算)		27年度予算額	26年度予算額
予 算 額(予算額は全主催事業の予算)								
27年度予算額	26年度予算額							
54,104千円	<54,332千円>							

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	(具体的施策 5再掲) ①定例会の開催(委員:27人) 定例会12回 ②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:212人<270人> 講演:「地域における女性の活躍 ～地域活動において不可欠な男女共同参画の視点～」 講師:村山 由香里 氏 (株式会社 アヴァンティ 代表取締役会長CEO) 演奏会:「福岡市消防音楽隊 & 福岡市消防カラーガード隊 F. クィーンズ」 ③男女共同参画社会づくり講座 参加者:210人<271人> テーマ「活躍する女性たち」(3回シリーズ) 主催:東区生涯学習推進課 共催:東区企画振興課 協力:東区男女共同参画連絡協議会 ④地域リーダー育成研修会 参加者:65名<55人> 「子どもの貧困について～ひとり親家庭の場合～」 講師:大戸 はるみ 氏 (特定非営利法人しんぐるまざあずふおーらむ・福岡) ⑤日本女性会議2015倉敷(4名参加)<3人> ⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会、演舞台に参加) ⑦筑紫少女苑 成人式に参列 ⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	(具体的施策 5再掲) ①役員会及び定例会 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 平成27年度 年4回<年4回> ②男女共同参画講演会(研修会) 平成27年度(参加者70名)<64名> 講演テーマ:琵琶が奏でる女の半生 講 師:池田 智鏡(いけだ ちきょう) 氏 対 象:校区男女共同参画委員、自治協議会長、公民館長・主事、空港周辺共同利用会館長 ③日本女性会議への参加 分科会・全体会へ参加 平成27年度 参加者 1名<7名> ④平成27年度 第3回男女協サミットへの参加 (各校区代表) ⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 平成27年度 「第1ブロック」(参加者47名) 「第4ブロック」(参加者74名) ⑥視察研修 平成27年度(参加者数:21名)<41名> 視察先:佐川急便 久留米営業所 ⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り、各校区にて保有する。 ⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加 平成27年度12名<17名>	B	博) 企画振興課

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p>	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者会を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・役員会(月1回程度)の開催 ・定例会(月1回程度)での情報交換 定例会での校区活動報告 区からの情報提供</p> <p>②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計4人)、連絡会で報告を行った。</p> <p>③中央区男女共同参画研修会の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:福岡女子大学 教授 野依智子氏/参加者:67名)〈75名〉</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p>
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成26、27年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。</p> <p>区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援 ①全体会 年2回開催(5月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約 ②学習会 年4回実施(7月、9月、11月、1月) 「介護」等、身近なテーマから男女共同参画について考えるもの また、今後の活動の参考とするため、各校区の実状等に関する意見交換を実施 ③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有 ④役員会 年7回開催</p> <p>2. 区主催事業 ①校区リーダー育成講座【参加者数:30名】 地域で、男女共同参画の視点を持って、校区の様々な活動を推進していく人材を育成することを目的として実施 ②南区自治組織協議会との意見交換会 自治組織協議会・男女共同参画協議会の校区代表者各1名で情報共有を目的に意見交換を実施</p>	<p>B</p>	<p>南) 企画振興課</p>



1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(10回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネル等の展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階101) ・委員研修開催時 ・男女共同参画講演会開催時</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「男女共同参画ってなあに？」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:77名】(81名) ・講師:富永 桂子氏(福岡大学講師)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 校区で男女共同参画を進めるための意識付けのため、区主催で講演会を行うもの。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:115名】(145名) I部 「日本女性会議2015倉敷」参加報告 II部 講演「あなたの未来 どう暮らす!? ~どんな準備が必要なのか~」 ・講師:春日 キスヨ氏(臨床社会学者)</p> <p>③「日本女性会議2015倉敷」への派遣 4名(2名)</p>	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>早良区男女共同参画をすすめる会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>下記の視点で、校区活動の活性化につながる活動を支援</p> <p>①自治協議会の一員として、校区行事への参加を楽しんで、そして盛り上げる。</p> <p>②校区住民に男女共同参画を「考える機会」を提供し、一人ひとりの意見を尊重して共有する。</p> <p>③学びと気づきに努め、その成果を発信する。</p> <p>④公民館や校区の各団体と共催で企画するなど連携に努める。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施</p> <p>①早良公民館(Aブロック) 60名(80名)                      テーマ「地域活動ハンドブックを活用しよう！                      ～地域の男女共同参画のすすめ方～」                      講師 市民局男女共同参画課, 早良区地域支援課</p> <p>②有住公民館(Bブロック) 60名(80名)                      テーマ「性はグラデーション ～あなたらしく自分らしく～」                      講師 中島 みつこ氏(NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会)</p> <p>③小田部公民館(Cブロック) 60名(80名)                      (1)講演「一人ひとりが“いきいき”と輝くために」                      講師 井上 るみ氏(福岡市市民局長)                      (2)パネルディスカッション                      「校区で男女共同参画をどのようにすすめるか」</p> <p>④室見公民館(Dブロック) 60名(80名)                      テーマ「地域活動ハンドブックを活用しよう！                      ～地域の男女共同参画のすすめ方～」                      講師 富永 桂子氏                      (NPO法人ジェンダー平等福岡市民の会理事長)                      山田 雄三氏                      (福岡大学福岡・東アジア・地域共生研究所員)</p> <p>2. 日本女性会議2015倉敷 委員4名参加(委員4名)</p> <p>3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置</p> <p>4. 委員研修会                      テーマ「アミカスがお伝えする『男女共同参画の基礎』と地域の取組み」                      講師 宮崎 岳彦氏(アミカス副館長)</p> <p>5. 早良区男女共同参画フォーラム 200名(184名)                      (1)基調講演 講師 野口 郁子氏(アミカス元館長)                      (2)パネルディスカッション                      「すすめよう！男女共同参画to地域活動」                      (3)校区活動事例報告(高取校区)                      (4)アトラクション(ジェンダー川柳かるたの発表)                      (5)まとめ</p>	<p>B</p>	<p>早) 地域支援課</p>
<p>西区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1. 西区男女共同参画フェスティバル                      西区男女共同参画フェスティバル2015 来場者約350名(240名)                      テーマ「かたり合い、笑顔でつなぐ 地域の輪」                      ・朗読劇「桃語り」 出演:西区男女共同参画をすすめる会委員                      ・講演会「夫婦円満が男女共同参画の第一歩」                      講師:全国亭主関白協会 天野周一氏                      ・校区男女共同参画推進活動パネル展示(18校区参加)</p> <p>2. 日本女性会議                      日本女性会議2015倉敷参加 4名(5名)</p> <p>3. 委員交流・意見交換会                      ①6月委員交流会・意見交換会 32名                      各校区における男女共同参画推進に関する課題や問題点等についてグループディスカッションを実施。                      ②9月委員交流会・意見交換会 34名(33名)                      講演会「『男』『女』から『一人ひとり』へ」                      講師:緒方豊子氏(早良区男女共同参画をすすめる会会長)                      ③1月委員交流会・意見交換会 34名(26名)                      各校区が作成した男女共同参画推進に関するパネルを題材に、校区における活動内容について考えるワークショップを実施。                      ④3月委員交流会・意見交換会 32名(32名)                      校区及び区における男女共同参画推進活動について1年間を振り返るグループディスカッションを実施。</p> <p>4. 全体会 30名(3月委員交流会終了後、同日開催)(32名)                      ・平成27年度事業報告                      ・平成28年度事業計画</p> <p>5. 広報紙「なぎさ」                      49号・50号(各号6600部)発行。                      年2回、9月・3月に発行している。                      各校区での世帯回覧、校区自治協議会等への配布、公民館等公共施設での配布。</p> <p>6. 西区男女共同参画推進奨励賞                      受賞者:2名と1団体</p>	<p>B</p>	<p>西) 振興課</p>



1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 33 男性の家庭生活や地域活動への参画促進</b>				
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;">☆アミカス講座</div>		(具体的施策 30再掲) ○男性向けセミナー 男性と若年層を対象とした多様なテーマの講座及び父と子を対象とした料理教室等を実施。 ◆パパと子どものクッキング 全4回(全2回) 講師:北川みどり氏(クッキングルームHappa 代表 食育指導士) 参加者数:延べ99人【男:71人,女28人】 〈延べ50人【男:36人,女14人】〉 ◆男性カレッジ 全3回(全4回) 講師:福山剛氏(La Maison de la NatureGoh オーナーシェフ)ほか 参加者数:延べ94人 〈延べ141人〉	A	市) 事業推進課
市民や企業と共働した子育て支援	平成26年度末までに、賛同企業・団体数を1500にする。	(具体的施策 28再掲) 子どもの健やかな成長を考える“きっかけ”となるよう、企業・団体に対して、“「い～な」ふくおか・子ども週間♡”賛同を呼びかけた。 ・平成28年3月末現在賛同数 973企業・団体 〈平成27年3月末賛同数 954企業・団体〉 ・働く人の認知度を向上するため、市営地下鉄駅構内で通勤時間帯に放送。 地下鉄駅構内放送の内容をリニューアル(市民から「子どもや子育てを応援する『ひとこと』」を募集し、優秀作品を地下鉄の構内放送に採用)(H28.5より放送開始) ・賛同後の働きかけや情報提供を強化するため、メールマガジンの発信回数を増加 ・“「い～な」ふくおか・子ども週間”ホームページへの賛同企業・団体名及び取り組みの掲載 ・賛同呼びかけ強化月間(8～10月)を設定し、市役所全庁で呼びかけ。 ・ノー残業デーの実施 ・子ども参観日の実施(8月5日)	B	こ) 総務企画課
活力あるまちづくり支援事業	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	(具体的施策 9再掲) 活力あるまちづくり支援事業補助金の交付を通じて自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。  補助金交付団体数 27年度148団体(148団体) ※26年度148団体のうち147団体については自治協議会へ交付、残り1団体については自治協議会未設立のため各種団体へ交付	A	市) コミュニティ推進課
公民館における男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの	公民館主催事業(男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの)実施館数の増加 18館	(具体的施策 32再掲) 公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。そのうち主に男性を対象としたもの。 公民館数 13館(12館) 回数 51回(30回) 参加人数 835人(758人)	C	市) 公民館調整課

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	(具体的施策 5再掲) ①定例会の開催(委員:27人) 定例会12回 ②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:212人<270人> 講演:「地域における女性の活躍 ～地域活動において不可欠な男女共同参画の視点～」 講師:村山 由香里 氏 (株式会社 アヴァンティ 代表取締役会長CEO) 演奏会:「福岡市消防音楽隊 & 福岡市消防カラーガード隊 F. クィーンズ」 ③男女共同参画社会づくり講座 参加者:210人<271人> テーマ「活躍する女性たち」(3回シリーズ) 主催:東区生涯学習推進課 共催:東区企画振興課 協力:東区男女共同参画連絡協議会 ④地域リーダー育成研修会 参加者:65名<55人> 「子どもの貧困について～ひとり親家庭の場合～」 講師:大戸 はるみ 氏 (特定非営利法人しんぐるまざあずふおーらむ・福岡) ⑤日本女性会議2015倉敷(4名参加)<3人> ⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会、演舞台に参加) ⑦筑紫少女苑 成人式に参列 ⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	(具体的施策 5再掲) ①役員会及び定例会 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 平成27年度 年4回<年4回> ②男女共同参画講演会(研修会) 平成27年度(参加者70名)<64名> 講演テーマ:琵琶が奏でる女の半生 講 師:池田 智鏡(いけだ ちぎょう) 氏 対 象:校区男女共同参画委員、自治協議会長、 公民館長・主事、空港周辺共同利用会館長 ③日本女性会議への参加 分科会・全体会へ参加 平成27年度 参加者 1名<7名> ④平成27年度 第3回男女協サミットへの参加 (各校区代表) ⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 平成27年度 「第1ブロック」(参加者47名) <「第4ブロック」(参加者74名)> ⑥視察研修 平成27年度(参加者数:21名)<41名> 視察先:佐川急便 久留米営業所 ⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り、各校区にて保有する。 ⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加 平成27年度12名<17名>	B	博) 企画振興課

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p>	<p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者会を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・役員会(月1回程度)の開催 ・定例会(月1回程度)での情報交換 定例会での校区活動報告 区からの情報提供</p> <p>②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計4人)、連絡会で報告を行った。</p> <p>③中央区男女共同参画研修会の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:福岡女子大学 教授 野依智子氏/参加者:67名)〈75名〉</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p>	<p>B</p>	<p>中) 企画振興課</p>
<p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p>	<p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成26、27年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。</p> <p>区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(5月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年4回実施(7月、9月、11月、1月) 「介護」等、身近なテーマから男女共同参画について考えるもの また、今後の活動の参考とするため、各校区の実状等に関する意見交換を実施</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年7回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座【参加者数:30名】 地域で、男女共同参画の視点を持って、校区の様々な活動を推進していく人材を育成することを目的として実施</p> <p>②南区自治組織協議会との意見交換会 自治組織協議会・男女共同参画協議会の校区代表者各1名で情報共有を目的に意見交換を実施</p>	<p>B</p>	<p>南) 企画振興課</p>

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(10回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネル等の展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時 ・男女共同参画講演会開催時</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「男女共同参画ってなあに？」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:77名】(81名) ・講師:富永 桂子氏(福岡大学講師)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 校区で男女共同参画を進めるための意識付けのため、区主催で講演会を行うもの。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:115名】(145名) I部 「日本女性会議2015倉敷」参加報告 II部 講演「あなたの未来 どう暮らす!? ~どんな準備が必要なのか~」 ・講師:春日 キスヨ氏(臨床社会学者)</p> <p>③「日本女性会議2015倉敷」への派遣 4名(2名)</p>	<p>B</p>	<p>城) 地域支援課</p>

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<p>早良区男女共同参画をすすめる会活動支援</p>	<p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>下記の視点で、校区活動の活性化につながる活動を支援</p> <p>①自治協議会の一員として、校区行事への参加を楽しんで、そして盛り上げる。</p> <p>②校区住民に男女共同参画を「考える機会」を提供し、一人ひとりの意見を尊重して共有する。</p> <p>③学びと気づきに努め、その成果を発信する。</p> <p>④公民館や校区の各団体と共催で企画するなど連携に努める。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施</p> <p>①早良公民館(Aブロック) 60名(80名)                      テーマ「地域活動ハンドブックを活用しよう！                      ～地域の男女共同参画のすすめ方～」                      講師 市民局男女共同参画課, 早良区地域支援課</p> <p>②有住公民館(Bブロック) 60名(80名)                      テーマ「性はグラデーション ～あなたらしく自分らしく～」                      講師 中島 みつこ氏(NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会)</p> <p>③小田部公民館(Cブロック) 60名(80名)                      (1)講演「一人ひとりが”いきいき”と輝くために」                      講師 井上 るみ氏(福岡市市民局長)                      (2)パネルディスカッション                      「校区で男女共同参画をどのようにすすめるか」</p> <p>④室見公民館(Dブロック) 60名(80名)                      テーマ「地域活動ハンドブックを活用しよう！                      ～地域の男女共同参画のすすめ方～」                      講師 富永 桂子氏                      (NPO法人ジェンダー平等福岡市民の会理事長)                      山田 雄三氏                      (福岡大学福岡・東アジア・地域共生研究所員)</p> <p>2. 日本女性会議2015倉敷 委員4名参加(委員4名)</p> <p>3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置</p> <p>4. 委員研修会                      テーマ「アミカスがお伝えする『男女共同参画の基礎』と地域の取組み」                      講師 宮崎 岳彦氏(アミカス副館長)</p> <p>5. 早良区男女共同参画フォーラム 200名(184名)                      (1)基調講演 講師 野口 郁子氏(アミカス元館長)                      (2)パネルディスカッション                      「すすめよう！男女共同参画to地域活動」                      (3)校区活動事例報告(高取校区)                      (4)アトラクション(ジェンダー川柳かるたの発表)                      (5)まとめ</p>	<p>B</p>	<p>早) 地域支援課</p>
<p>西区男女共同参画連絡会活動支援</p>	<p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。</p>	<p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1. 西区男女共同参画フェスティバル                      西区男女共同参画フェスティバル2015 来場者約350名(240名)                      テーマ「かたり合い、笑顔でつなぐ 地域の輪」                      ・朗読劇「桃語り」 出演:西区男女共同参画をすすめる会委員                      ・講演会「夫婦円満が男女共同参画の第一歩」                      講師:全国亭主関白協会 天野周一氏                      ・校区男女共同参画推進活動パネル展示(18校区参加)</p> <p>2. 日本女性会議                      日本女性会議2015倉敷参加 4名(5名)</p> <p>3. 委員交流・意見交換会                      ①6月委員交流会・意見交換会 32名                      各校区における男女共同参画推進に関する課題や問題点等についてグループディスカッションを実施。                      ②9月委員交流会・意見交換会 34名(33名)                      講演会「『男』『女』から『一人ひとり』へ」                      講師:緒方豊子氏(早良区男女共同参画をすすめる会会長)                      ③1月委員交流会・意見交換会 34名(26名)                      各校区が作成した男女共同参画推進に関するパネルを題材に、校区における活動内容について考えるワークショップを実施。                      ④3月委員交流会・意見交換会 32名(32名)                      校区及び区における男女共同参画推進活動について1年間を振り返るグループディスカッションを実施。</p> <p>4. 全体会 30名(3月委員交流会終了後、同日開催)(32名)                      ・平成27年度事業報告                      ・平成28年度事業計画</p> <p>5. 広報紙「なぎさ」                      49号・50号(各号6600部)発行。                      年2回、9月・3月に発行している。                      各校区での世帯回覧、校区自治協議会等への配布、公民館等公共施設での配布。</p> <p>6. 西区男女共同参画推進奨励賞                      受賞者:2名と1団体</p>	<p>B</p>	<p>西) 振興課</p>

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 34 生活的自立のための学習機会の提供				
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等  ☆アミカス講座		(具体的施策 30再掲) ○男性向けセミナー 男性と若年層を対象とした多様なテーマの講座及び父と子を対象とした料理教室等を実施。 ◆パパと子どものクッキング 全4回(全2回) 講師:北川みどり氏(クッキングルームHappa 代表 食育指導士) 参加者数:延べ99人【男:71人,女28人】 〈延べ50人【男:36人,女14人】〉 ◆男性カレッジ 全3回(全4回) 講師:福山剛氏(La Maison de la NatureGoh オーナーシェフ)ほか 参加者数:延べ94人 〈延べ141人〉	A	市) 事業推進課
公民館における男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの	公民館主催事業(男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの)実施館数の増加 18館	(具体的施策 32再掲) 公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。そのうち主に男性を対象としたもの。 公民館数 13館 〈12館〉 回数 51回 〈30回〉 参加人数 835人 〈758人〉	C	市) 公民館調整課

### 施策の方向 3 子育て・介護支援の充実

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
具体的施策 35 多様なニーズに対応した子育て支援の充実								
こどもショートステイ		保護者が病気などで家庭での養育が一時的に困難な子どもを、児童養護施設や乳児院で短期間預かるもの。  実施か所数 児童養護施設3, 乳児院2, 児童家庭支援センター1 実績 280人, 1,320日(252人, 1,383日)	A	こ) こども家庭課				
		予 算 額 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>7,863千円</td> <td>〈3,639千円〉</td> </tr> </table>	27年度予算額	26年度予算額	7,863千円	〈3,639千円〉		
27年度予算額	26年度予算額							
7,863千円	〈3,639千円〉							
病児・病後児デイケア事業		保育園等へ通っている子どもが病気のと看で、保護者が仕事の都合などで看病できない場合に、病児デイケアルームで一時預かりを行うもの。  実施か所数 小児科医院18,合計18か所 延利用数 27,250人(22,431人)	A	こ) こども発達支援課				
		予 算 額 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>281,016千円</td> <td>〈264,939千円〉</td> </tr> </table>	27年度予算額	26年度予算額	281,016千円	〈264,939千円〉		
27年度予算額	26年度予算額							
281,016千円	〈264,939千円〉							



基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
特別保育事業 (延長保育)		<p>保護者の就労形態の多様化や通勤時間の増加等によって、通常の午後6時までの開所時間を超過して保育を必要とする場合に、保育時間を延長するもの。</p> <p>延長保育 保育所206か所(1～4時間)〈200か所〉 地域型保育事業所14か所(1～2時間) ※地域型保育事業所の延長保育は、平成27年度から実施。</p> <p>予 算 額 (※予算額は全体予算)</p> <table border="1"> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>723,442千円</td> <td>〈957,748千円〉</td> </tr> </table>	27年度予算額	26年度予算額	723,442千円	〈957,748千円〉	B	こ) 運営支援課
27年度予算額	26年度予算額							
723,442千円	〈957,748千円〉							
特別保育事業 (一時保育)	一時保育 継続実施	<p>保護者の急病や仕事、リフレッシュなど、保育所に入所していない子どもについて一時的に保育が必要となる場合に、保育所で預かるもの。</p> <p>一時保育31か所〈30か所〉</p> <p>予 算 額 (※予算額は全体予算)</p> <table border="1"> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>723,442千円</td> <td>〈957,748千円〉</td> </tr> </table>	27年度予算額	26年度予算額	723,442千円	〈957,748千円〉	C	こ) 運営支援課
27年度予算額	26年度予算額							
723,442千円	〈957,748千円〉							
特別保育事業 (休日保育)	休日保育7か所	<p>保護者が日曜・休日に就労している場合に、市内の保育所に入所している子どもを、実施保育所で預かるもの。</p> <p>休日保育6か所〈5か所〉</p> <p>予 算 額 (※予算額は全体予算)</p> <table border="1"> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	27年度予算額	26年度予算額	-	-	C	こ) 運営支援課
27年度予算額	26年度予算額							
-	-							
特別保育事業 (夜間保育)	夜間保育2か所	<p>保護者が夜間に就労している場合等に対応するため、保育所の開所時間を午後10時までとし、さらに深夜2時までの延長保育を行うもの。</p> <p>夜間保育2か所〈2か所〉</p> <p>予 算 額 (※予算額は全体予算)</p> <table border="1"> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	27年度予算額	26年度予算額	-	-	A	こ) 運営支援課
27年度予算額	26年度予算額							
-	-							
特別保育事業 (障がい児保育)	全保育所で受入	<p>全保育所で受入可</p> <p>予 算 額 (※予算額は全体予算)</p> <table border="1"> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>723,442千円</td> <td>〈957,748千円〉</td> </tr> </table>	27年度予算額	26年度予算額	723,442千円	〈957,748千円〉	A	こ) 運営支援課
27年度予算額	26年度予算額							
723,442千円	〈957,748千円〉							
一時預かり事業	実施施設数8か所 (新・福岡市子ども総合計画)	<p>保護者等が冠婚葬祭や通院、リフレッシュ等のために必要なときに、その養育する児童を一時的に預かることで、乳幼児の保護者の子育てに関する不安感・負担感を軽減し、虐待防止と児童の健全育成を図る。</p> <p>実施施設数 7か所</p> <p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>27,284千円</td> <td>〈18,255千円〉</td> </tr> </table>	27年度予算額	26年度予算額	27,284千円	〈18,255千円〉	B	こ) 事業企画課
27年度予算額	26年度予算額							
27,284千円	〈18,255千円〉							

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
ファミリーサポートセンター事業	会員数7,200人 (新・福岡市子ども総合計画, 平成26年度末計画目標)	<p>「子育てを応援して欲しい人」と「子育てを応援したい人」が地域の中で育児の相互援助活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所・幼稚園・学童保育の迎え及び帰宅後の預かり</li> <li>・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助</li> <li>・子どもの習い事等の場合の援助 など</li> </ul> <p>・会員登録数                      依頼会員(子育てを応援して欲しい人)                      5,571人(5,503人)                      提供会員(子育てを応援したい人)                      1,028人(1,036人)                      両方会員(子育てを応援して欲しいし, 応援もしたい人)                      912人(923人)                      合計 7,511人(7,462人)</p> <p>・活動状況 15,919回(16,722回)</p>	A	こ) 事業企画課
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>23,962千円</td> <td>〈23,742千円〉</td> </tr> </table>		
27年度予算額	26年度予算額			
23,962千円	〈23,742千円〉			
保育所の整備	保育所入所定員の増加	<p>既存施設の増改築や新築の他, 小規模保育事業の実施等, 多様な手法により保育所整備を実施。</p> <p>平成23年度: 1,160人分の定員増                      (平成24年4月1日保育所入所定員 26,264人)</p> <p>平成24年度: 1,400人分の定員増                      (平成25年4月1日保育所入所定員 27,664人)</p> <p>平成25年度: 2,354人分の定員増                      (平成26年4月1日保育所入所定員 30,018人)</p> <p>平成26年度: 1,962人分の定員増                      (平成27年4月1日保育所入所定員 31,980人)</p> <p>平成27年度: 1,561人分の定員増                      (平成28年4月1日保育所入所定員 33,541人)</p>	B	こ) 運営支援課 こ) 事業企画課
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>3,747,054千円</td> <td>〈4,191,375千円〉</td> </tr> </table>		
27年度予算額	26年度予算額			
3,747,054千円	〈4,191,375千円〉			
留守家庭子ども会事業	小学校内に設置した「留守家庭子ども会」等において, 学年拡大に係る対象校・学年を順次拡大し, 平成27年度当初までに, 全施設での全学年受入を実施する。	<p>放課後帰宅しても保護者が労働等で不在である家庭の児童を対象に「留守家庭子ども会」を設置し, 児童の健全育成と子育て支援を行う。</p> <p>設置校区 136か所(136校区)</p> <p>平成26年4月から5年生の通年受入を全校で実施。また, 25年度に5年生を受け入れた24校を含め, 113校で6年生の通年受入を実施。</p> <p>平成27年4月から全施設での全学年受入を実施。</p>	A	こ) 放課後こども育成課
		<p>予 算 額</p> <table border="1"> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>2,889,888千円</td> <td>〈2,341,206千円〉</td> </tr> </table>		
27年度予算額	26年度予算額			
2,889,888千円	〈2,341,206千円〉			

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課		
<b>具体的施策 36 子育てしやすい環境づくり</b>						
公民館における主催事業の実施(乳幼児ふれあい学級・子育てサポーター養成講座)	公民館主催事業(乳幼児ふれあい学級・子育てサポーター養成講座)実施館数の増加 160館	公民館主催事業のうち乳幼児ふれあい学級・子育てサポーター養成講座を実施。 公民館数 129館< 132館> 回数 1,379回< 1,269回> 参加人数 50,099人<49,268人>	B	市) 公民館支援課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額(予算額は全主催事業の予算)</th> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>54,104千円</td> <td>&lt;54,332千円&gt;</td> </tr> </table>			予 算 額(予算額は全主催事業の予算)	
予 算 額(予算額は全主催事業の予算)						
27年度予算額	26年度予算額					
54,104千円	<54,332千円>					
地域子ども育成事業	地域の子どもの育む力の回復をめざして、地域の大人の意識変革、子どもを育む活動の活性化やネットワークの再生に取り組み、子どもたちを健やかに育む環境づくりを推進する。	<p>○育みネット支援事業 地域の子どもの育むネットワークづくり支援。 ・126校区実施済&lt;117校区&gt;</p> <p>○研修講師派遣事業 子どもを見守り育もうという意識の向上を図る目的などで開催される研修会に講師を派遣する。 ・22回派遣&lt;23回派遣&gt;</p> <p>○遊びの達人 子どもの健全育成を推進する団体が開催する活動に遊びの指導者を派遣する。 ・45回派遣&lt;41回派遣&gt;</p> <p>○子どもの夢応援事業 地域で子どもを育む活動の活性化に向け、子どもたちが自主的に企画・実施する活動を支援する。 ・31件&lt;22件&gt;</p>	B	こ) 青少年健全育成課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>50,095千円</td> <td>&lt;50,671千円&gt;</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
27年度予算額	26年度予算額					
50,095千円	<50,671千円>					
区青少年育成推進事業	地域・学校・関係機関と一体となり、非行防止・啓発事業等、地域に根ざした各種青少年育成事業を推進する。	<p>○青少年を見守る店 青少年の初発型非行を防止するため、「愛の声かけ」等の活動を通じて地域ぐるみによる非行防止体制の強化を図る。 ・627店舗&lt;618店舗&gt;</p> <p>○中学校校区青少年育成連絡協議会への助成 中学校区の範囲で街頭パトロールなどの非行防止活動を実施する協議会の活動費を助成する。 ・助成額66校区×75千円=4,950千円</p> <p>○少年愛護パトロール員 区長が委嘱するパトロール員が、それぞれの校区をパトロールする中で、地域社会の不良環境や健全育成上の阻害要因等を早期に発見してもらう。 ・890名委嘱&lt;924名&gt;</p> <p>○立入調査 青少年にとって有害な環境を浄化するために、コンビニや書店への立ち入り調査を行い、指導を行う。 ・立入件数1419件&lt;1376件&gt;</p>	B	こ) 青少年健全育成課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>47,541千円</td> <td>&lt;47,960千円&gt;</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
27年度予算額	26年度予算額					
47,541千円	<47,960千円>					
旅館・カラオケボックス規制指導	善良な風俗及び生活環境を保持し、青少年の健全な育成を図る。	○旅館等・カラオケボックス設置規制指導 旅館等やカラオケボックスを設置しようとする業者等に対して助言・指導を行う。 ・相談数60回<30回>	B	こ) 青少年健全育成課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>4,363千円</td> <td>&lt;4,347千円&gt;</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
27年度予算額	26年度予算額					
4,363千円	<4,347千円>					
地域子育て交流支援事業	延べ参加者数138,000人 (新・福岡市子ども総合計画、平成26年度末計画目標)	地域全体で乳幼児の子育てを支援する体制づくりを行い、地域の見守りのもと、公民館等を活用して、乳幼児親子が気軽に集える「子育て交流サロン」の開設や運営を支援する。 新設数 延べ154か所<延べ151か所> 参加者数 23年度 96,065人 24年度 88,520人 25年度 95,554人 26年度 88,395人 27年度 84,425人	B	こ) 事業企画課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td>26年度予算額</td> </tr> <tr> <td>6,992千円</td> <td>&lt;7,208千円&gt;</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
27年度予算額	26年度予算額					
6,992千円	<7,208千円>					

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
子どもプラザ	設置数14か所 (新・福岡市子ども総合計画)	乳幼児親子がいつでも気軽に利用でき、子育てに関する相談や情報交換ができる子育て支援の拠点として、子どもプラザを開設し、地域で孤立しがちな親の子育て不安の軽減を図る。  設置数 14か所  予 算 額 27年度予算額 155,274千円 26年度予算額 <161,239千円>	A	こ) 事業企画課
ファミリー・サポート・センター事業	会員数7,200人 (新・福岡市子ども総合計画、平成26年度末計画目標)	(具体的施策 35再掲) 「子育てを応援して欲しい人」と「子育てを応援したい人」が地域の中で育児の相互援助活動を行う。 ・保育所・幼稚園・学童保育の迎え及び帰宅後の預かり ・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 ・子どもの習い事等の場合の援助 など ・会員登録数 依頼会員(子育てを応援して欲しい人) 5,571人(5,503人) 提供会員(子育てを応援したい人) 1,028人(1,036人) 両方会員(子育てを応援して欲しいし、応援もしたい人) 912人(923人) 合 計 7,511人(7,462人)  ・活動状況 15,919回(16,722回)	A	こ) 事業企画課
子育て支援に関する主催事業	子どもの育ちにとって、時間・空間・仲間が重要であり、それに関わる親・サポーター等が共に体得できる内容のものを実施していく。	○子育てふれあい広場「のびのび夢ひろばじょうなん」 子育てに関する活動をしている市民グループと福岡大学や中村学園大学等のボランティアスタッフと共働で実施した。 (実施日)平成27年9月6日(日) (参加者数)446人<698名> ○子育て講座「乳幼児と大人のための外遊び講座」 子育て中の保護者はじめ大人たちが、日頃の子育てを見つめなおす機会として乳幼児と大人が共に外遊びの実体験をする講座を実施した。 (実施日)H27.6月～H27.12月 全5回開催 (参加者延べ数)163組<5回開催 179組>  予 算 額 27年度予算額 500千円 26年度予算額 <500千円>	B	城) 生涯学習推進課
児童虐待防止事業	一時保護児、乳児院、児童養護施設入所児の1年以内での再統合ケース：80.0%	児童虐待の未然防止、早期発見・対応、子どもや親のケア、再発防止などを行うもの。  1 早期対応・相談体制の強化 児童福祉司等の専門性強化、法的対応機能強化事業の実施 2 子どもや親への支援体制の強化 親の養育支援事業の実施 3 関係機関とのネットワークの強化 区子育て支援課との連携強化  ※一時保護児、乳児院、児童養護施設入所児の1年以内での再統合ケースの実績 H27年度 68.1% <75.6%> ※当初値 62.2%(H14年度)  予 算 額(※予算額のうち特定財源 1,362千円) 27年度予算額 18,131千円 26年度予算額 <13,645千円>	B	こ) こども緊急支援課

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
区保健福祉センター こども相談係・家庭 児童相談室におけ る相談	身近な相談窓口として の機能を充実し迅速か つ的確な対応を目指 す。	(具体的施策 15再掲) 婦人保護相談 延べ件数 7,520件< 6,201件> 母子・父子自立相談 延べ件数 9,061件< 8,098件> 家庭児童相談 延べ件数 14,611件<17,458件> うち、DV相談 延べ件数 4,035件< 3,121件> (※婦人保護相談に含む)	B	こ) こども家庭 課
街頭指導		中学・高等学校教諭や民生委員・児童委員等に「子ども生活指 導員」を委嘱し、市内の繁華街等(天神、JR博多駅など市内14か 所)のゲームセンター、カラオケボックス、スーパー、デパート、商 店街等の盛り場、公園など青少年のたまり場を重点として、街頭 指導活動を実施した。  街頭指導:実施回数 164回< 182回> 従事人員 599人< 585人> 指導人員 1,564人(525人)< 1,428人(478人)> ※( )内は女子で内数。	B	こ) こども相談 課
		予 算 額		
		27年度予算額 26年度予算額 1,429千円 <1,863千円>		
アミカスにおける託 児の実施	安全で快適な託児を実 施する。	アミカスで行う講座・講演会において託児グループによる託児を 実施した(18年度からアミカス主催講座については無料とした。) 託児付き講座・講演会: 37講座<36講座> 託児参加者数: 886人<955人> 託児スタッフ延べ人数: 747人<883人> 託児スタッフ登録人数: 45人<39人>	A	市) 事業推進課
		予 算 額		
		27年度予算額 26年度予算額 1,813千円 <1,513千円>		
アミカスBOOKタイム	乳幼児を育てる保護者 のリフレッシュを図 る。	託児付きで読書やビデオ鑑賞の機会を提供。 6月～2月 全12回 参加者 137人 <6月～2月 全8回 参加者84人>	B	市) 事業推進課
		予 算 額		
		27年度予算額 26年度予算額 - -		
市民や企業と共働し た子育て支援		(具体的施策 28再掲) 子どもの健やかな成長を考える“きっかけ”となるよう、企業・ 団体に対して、“「い～な」ふくおか・子ども週間♡”賛同を呼びか けた。 ・平成28年3月末現在賛同数 973企業・団体 <平成27年3月末賛同数 954企業・団体> ・働く人の認知度を向上するため、市営地下鉄駅構内で通勤時 間帯に放送。 地下鉄駅構内放送の内容をリニューアル(市民から「子どもや 子育てを応援する『ひとこと』」を募集し、優秀作品を地下鉄の構 内放送に採用)(H28.5より放送開始) ・賛同後の働きかけや情報提供を強化するため、メールマガジ ンの発信回数を増加 ・“「い～な」ふくおか・子ども週間”ホームページへの賛同企業・ 団体名及び取り組みの掲載 ・賛同呼びかけ強化月間(8～10月)を設定し、市役所全庁で呼 びかけ。 ・ノー残業デーの実施 ・子ども参観日の実施(8月5日)	B	こ) 総務企画課

基本目標3 男女が共に仕事と生活の調和を実現できる社会を目指します

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
留守家庭子ども会事業	小学校内に設置した「留守家庭子ども会」等において、学年拡大に係る対象校・学年を順次拡大し、平成27年度当初までに、全施設での全学年受入を実施する。	(具体的施策 35再掲) 放課後帰宅しても保護者が労働等で不在である家庭の児童を対象に「留守家庭子ども会」を設置し、児童の健全育成と子育て支援を行う。 設置校区 136か所(136校区)  平成26年4月から5年生の通年受入を全校で実施。また、25年度に5年生を受け入れた24校を含め、113校で6年生の通年受入を実施。 平成27年4月から全施設での全学年受入を実施。	A	こ) 放課後子ども育成課
こども総合相談センター総合相談事業		電話相談受理件数(全体) … 11,110件(10,909件)  面接相談受理件数(全体) … 4,326件(4,171件)  予 算 額 27年度予算額 445,478千円 26年度予算額 <427,824千円>	B	こ) こども支援課
バリアフリーのまちづくり推進		1. 福岡市バリアフリー基本計画の進行管理等 ・市民、事業者等で構成する協議会実施:1回<1回> 2. バリアフリー化推進の普及・啓発、育成 ①出前講座 ・実施回数:4回、参加人数:356名 <実施回数:5回、参加人数:457名> ②市職員向け研修(参加人数) ・技術者研修:49名、体験研修:19名 <技術者研修:54名、体験研修:11名>  予 算 額 27年度予算額 8,639千円 26年度予算額 <14,780千円>	A	(保) 政策推進課
公共交通バリアフリー化促進事業(鉄道駅)	高齢者や障がいがある人をはじめ全ての公共交通利用者が安全且つ円滑に移動できるよう公共交通施設のバリアフリー化を推進する。	平成26年度実績:JR下山門駅エレベーター3基設置 平成27年度実績:JR和白駅スロープ等設置 JR千早駅内方線付点状ブロック設置 JR西日本新幹線博多駅内方線付点状ブロック設置  予 算 額 27年度予算額 50,480千円 26年度予算額 <63,333千円>	A	(住) 交通計画課  ※27年度は公共交通推進課
公共交通バリアフリー化促進事業(ノンステップバス)	高齢者や障がいがある人をはじめ全ての公共交通利用者が安全且つ円滑に移動できるよう公共交通施設のバリアフリー化を推進する。	平成26年度実績:ノンステップバス導入に対する補助(86台) 低位型券売機導入に対する補助(1台) 平成27年度実績:ノンステップバス導入に対する補助(77台)  予 算 額 27年度予算額 37,773千円 26年度予算額 <52,775千円>	B	(住) 交通計画課  ※27年度は公共交通推進課



1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課	
<b>具体的施策 37 介護支援の充実</b>					
介護保険事業	第6期介護保険事業計画の円滑な実施	要介護認定者数 61,587人(年度平均)< 58,979人) 介護サービス利用者数48,543人(年度平均)< 46,373人)	A	(保) 介護福祉課	
		予 算 額			
		27年度予算額 88,102,129千円	26年度予算額 <85,230,010千円)		
地域支援事業及び在宅高齢者福祉事業	高齢者が住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らし続けられるよう、地域における身近な総合相談機能の充実に努めるとともに、介護予防を推進し、自宅での自立支援や介護者の負担軽減を図る。	○地域支援事業 地域で生活する高齢者、その家族を支援するため、介護予防事業(高齢者が要介護状態になることを防ぐ)、包括的支援事業(地域包括支援センターが実施)、任意事業(高齢者が地域で自立した日常生活を送れるように支援)を実施する。  地域支援事業35事業(介護予防事業(11事業)、包括的支援事業(7事業)、任意事業(17事業))及び在宅福祉サービスの11事業を実施  <地域支援事業32事業(介護予防事業(9事業)、包括的支援事業(3事業)、任意事業(20事業))及び在宅福祉サービスの11事業を実施>	A	(保) 介護福祉課	
		予 算 額			
		27年度予算額 1,212,079千円	26年度予算額 <920,131千円)		
地域包括支援センター事業	地域における高齢者の身近な相談体制充実を図る	○相談実績 実相談人数 22,565人 延相談人数 124,011人	A	(保) 地域包括ケア推進課	
		予 算 額			
		27年度予算額 1,540,222千円	26年度予算額 <1,042,473千円)		
介護老人保健施設等建設費助成	第5期福岡市高齢者保健福祉計画(平成24年度から平成26年度)  介護老人保健施設平成26年度整備計画数 2,610人分	要介護高齢者の増加に対応するため、医療法人等が行う介護老人保健施設の整備に対して助成を行う。 27年度末現在 累計 27施設・定員2,627人<27施設・定員2,627人)	A	(保) 高齢者サービス支援課	
		予 算 額			
		27年度予算額 -	26年度予算額 -		
ふれあいネットワークふれあいサロン	ふれあいネットワークは実施自治会数を、ふれあいサロンは実施箇所数を増やし、住民による地域保健福祉活動の充実を図る。	高齢者等を地域で支えるしくみづくりの推進をとおして、男女が共に仕事と家庭を両立できる環境づくりを図った。 ・ふれあいネットワーク 135校区<134校区> 1,768自治会数<1,728自治会数> ・ふれあいサロン 141校区<141校区> 370箇所<352箇所> ※平成27年度実績は12月末現在の数値	A	(保) 福祉・介護予防課	
		予 算 額			
		27年度予算額 41,483千円	26年度予算額 <40,582千円)		
特別養護老人ホーム等建設費助成	第6期福岡市介護保険事業計画(平成27年度から平成29年度)  特別養護老人ホーム平成29年度整備計画数 5,930人分	要介護高齢者の増加に対応するため、社会福祉法人が行う特別養護老人ホーム等の整備に対して助成を行う。 27年度開設 4施設・定員215人<4施設・定員329人> 累計 74施設・定員5,341人<70施設・定員5,126人)	A	(保) 高齢者サービス支援課	
		予 算 額			
		27年度予算額 863,880千円	26年度予算額 <1,330,277千円)		

施策の方向 4 ひとり親家庭への支援の充実

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課		
<b>具体的施策 38 相談の充実</b>						
区保健福祉センター こども相談係・家庭 児童相談室におけ る相談	身近な相談窓口として の機能を充実し迅速かつ 的確な対応を目指す。	(具体的施策 15再掲) 婦人保護相談 延べ件数 7,520件< 6,201件> 母子・父子自立相談 延べ件数 9,061件< 8,098件> 家庭児童相談 延べ件数 14,611件<17,458件> うち、DV相談 延べ件数 4,035件< 3,121件> (※婦人保護相談に含む)	B	こ) こども家庭 課		
区家庭児童相談室 相談員研修	身近な相談窓口として の機能を充実し迅速かつ 的確な対応を目指す。	本庁での業務研修や福岡県社会福祉協議会による社会福祉 施設職員研修などの派遣研修を行っている。このうちDVIについ ては、福岡県女性相談所でのスーパービジョン研修等に派遣し ている。	A	こ) こども家庭 課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>27年度予算額</th> <th>26年度予算額</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
27年度予算額	26年度予算額					
—	—					
民生委員・児童委員、主任児童委員研 修	社会奉仕の精神をもつ て相談、援助に当たり 社会福祉の増進に努め る民生委員・児童委 員、主任児童委員の資 質の向上を図る研修を 毎年実施する。	○中堅研修(3回実施, 参加者429人)<1回実施, 参加者140人> ○幹部研修(1回実施, 参加者189人)<1回実施, 参加者186人> ○主任児童委員研修(1回実施, 参加者193人)<台風により中 止> ○専門部会研修(以下は市レベルの研修である。各区レベルで も全民生委員・児童委員を対象に別途、研修を実施している。) (10回実施, 参加者のべ206人)<10回実施, 参加者のべ209人>	B	保) 福祉・介護 予防課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>27年度予算額</th> <th>26年度予算額</th> </tr> <tr> <td>280,037千円</td> <td>&lt;280,992千円&gt;</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
27年度予算額	26年度予算額					
280,037千円	<280,992千円>					
アミカス相談室	日常生活の中で直面す る様々な問題について 相談員などが相談を受 け、問題解決に向けて 援助する。	(具体的施策 15再掲) (1)相談業務 ①総合相談(相談・面接) ②アミカスDV相談ダイヤル ③法律相談 ④男性のための相談ホットライン (2)講座などによる啓発活動 ①法律講座 年3回<3回> 参加者 延べ65名<81名> ②グループワーク 年2講座12回 参加者 延べ43人<53人> ③DV講座 2回<2回> 参加者10名<14名> ④自主グループ支援 13回<11回>51人<31人> (3)相談員の会議・研修 ①DV相談窓口の相談員連絡会議 1回<1回> ②事例検討・研修会 年5回<5回> <事業実績> ○相談件数 4,461件<4,878件> うち、DV相談 731件<871件>	B	市) 事業推進課		
ひとり親家庭支援セ ンター事業	今後も当該サービスを 継続して実施する。	ひとり親家庭等の福祉を増進するため、各種相談に応じるとと もに、本市におけるひとり親家庭の自立・就業支援の中心施設と して、他の相談機関等と連携しながら就業情報の提供や就業支 援講習会等の事業を実施している。 利用者数9,576人<9,886人>	A	こ) こども家庭 課		
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予 算 額</th> </tr> <tr> <th>27年度予算額</th> <th>26年度予算額</th> </tr> <tr> <td>57,377千円</td> <td>&lt;56,583千円&gt;</td> </tr> </table>			予 算 額	
予 算 額						
27年度予算額	26年度予算額					
57,377千円	<56,583千円>					

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
<b>具体的施策 39 ひとり親家庭の自立促進と生活の安定</b>				
ひとり親家庭等日常生活支援事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	母子家庭、父子家庭及び寡婦の修学等の自立促進に必要な事由や疾病等の社会的な事由により、一時的に介護、保育等のサービスが必要なとき、家庭生活支援員を派遣して、必要な介護及び児童の保育を行うもの。 201時間<82時間>  予 算 額 27年度予算額 454千円 26年度予算額 <425千円>	A	こ) こども家庭課
ひとり親家庭支援センター事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	(具体的施策 38再掲) ひとり親家庭等の福祉を増進するため、各種相談に応じるとともに、本市におけるひとり親家庭の自立・就業支援の中心施設として、他の相談機関等と連携しながら就業情報の提供や就業支援講習会等の事業を実施している。 利用者数9,576人<9,886人>	A	こ) こども家庭課
ひとり親家庭就業支援事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	○ひとり親家庭無料職業紹介事業 平成20年12月からひとり親家庭支援センター(旧母子福祉センター)にて無料職業紹介事業を実施 就職者数7名<3名>  ○自立支援プログラム策定事業 児童扶養手当受給者の自立を促進するため、個々の状況に応じた自立支援計画書(プログラム)を策定し、個別・継続的な自立・就労支援を行う。 就職者数50件<40件>  予 算 額 27年度予算額 3,807千円 26年度予算額 <3,778千円>	A	こ) こども家庭課
ひとり親家庭自立支援給付金事業	今後も当該サービスを継続して実施する。	○自立支援教育訓練給付金事業 母子家庭の母又は父子家庭の父が能力開発のために資格等を取得する際、その受講料の2割(最高10万円)を支給。 ・支給件数 7件<4件>  ○高等職業訓練促進給付金事業 母子家庭の母又は父子家庭の父が看護師等の就職に結びつきやすい高度な資格を取得する際、月額100,000円(課税世帯は月額70,500円)の促進給付金を支給。 ・支給件数 64件<81件> また、修業後50,000円(課税世帯は25,000円)の修了一時金を支給。 ・支給件数 22件<31件>  予 算 額 27年度予算額 103,207千円 26年度予算額 <103,302千円>	A	こ) こども家庭課
市営住宅へのひとり親家庭優遇措置	市営住宅入居時の抽選倍率が、全体平均倍率よりもひとり親世帯の倍率低い状態で維持する。	ひとり親世帯に対し、抽選番号を一般世帯よりも多く割り振ることにより当選の確率を高めて配慮している。 申し込み回数が4回目(落選回数3回)までの人には1個、5回目以上(落選回数4回以上)の人には2個の抽選番号がプラスされる。 また、ひとり親世帯を随時募集の申込資格のひとつとしている。  ○ ひとり親世帯の抽選倍率 12.63倍(全体平均 12.81倍)<14.56倍(全体平均 14.24倍)>  予 算 額 27年度予算額 - 26年度予算額 -	A	住) 住宅管理課